

資産運用レポート：光通信流バリュー投資

1 はじめに

今年に入り、ウォーレン・バフェットの後継者とも言えるモダンバリュー投資の旗手をたずねて、世界各地を旅行してきました。グーグル先生兼通訳をガイドに、サイバー空間を駆け巡ってきたのです。

1月には渡米し、モダンバリュー投資の新たな担い手として一目置かれているデブ・カンテサリア (Dev Kantesaria) の話を聞きました。ネット上のインタビュー記事が手がかかりでした。

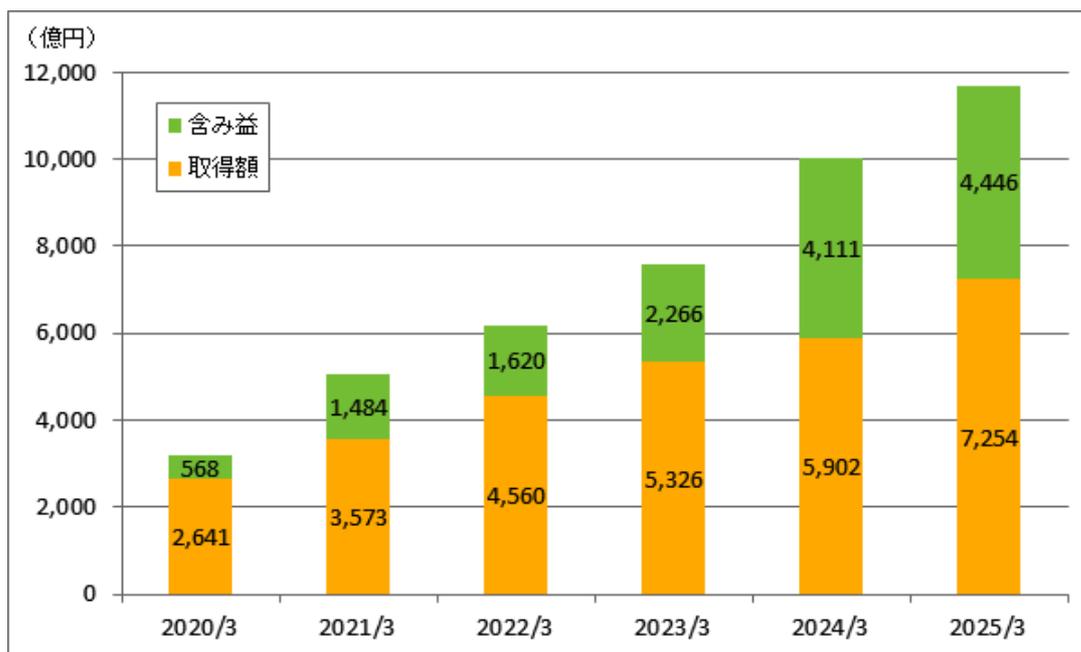
2月の旅行先はシンガポールでした。インド株への投資で目を見張るパフォーマンスを達成しているプラク・プラサド (Pulak Prasad) を訪問しました。

著書『What I Learned About Investing from Darwin』(ダーウィンから学んだ投資) をグーグル通訳に助けてもらいながら通読して、感銘を受けました。

4月にはイギリスに飛びました。お目当ては英国のウォーレン・バフェットとも称されているテリー・スミス (Terry Smith) です。著書『Investing for Growth』(成長のための投資) や株主への手紙を通じて、その投資哲学に触れました。

そして6月には日本に戻ってきました。今回の資産運用レポートでは、我が国でバフェット流バリュー投資を実践している光通信を取り上げます。

★光通信 純投資額の推移



取得額、含み益とも右肩あがりで増えています